

# 広島神楽

## 定期公演 へようこそ

本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。  
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。

- ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。
- (1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
  - (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
  - (3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
  - (4) 撮影について  
→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。  
※フラッシュの使用、三脚を使用**しての撮影は禁止**します。  
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)
- 以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

### 撮影エリアについてのご案内

写真撮影をご希望の方は必ず、下記の撮影エリアをお願いいたします。

撮影エリア

フラッシュを使用した撮影、三脚を使用したの撮影、撮影された画像の営利目的での使用および何らかの複製公開は禁止させていただきます

スマホや携帯で撮った動画や写真をSNSにどんどんアップして

広島神楽の魅力を発信してください!!

4月24日のタイムスケジュール  
出演:有田神楽団(北広島町)  
19:00～開演  
19:05～第一幕『紅葉狩』  
(およそ40分)  
～幕間(休憩)～  
20:05～第二幕『八岐大蛇』  
(およそ40分)  
20:45～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。本日の記念には是非ご参加下さい。また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。(舞台へは靴を脱いでお上がりください。)

※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

ありがたぐらだん

## 有田神楽団プロフィール ～北広島町～

有田神楽団の正確な起源は定かではありませんが、北広島町の南東部一帯の神社に奉仕している神職・井上家に伝わる古文書の中に1588年霜月の奥書にある「荒年の舞詩」という神楽台本があります。この神楽台本からして恐らく、戦国時代末期頃には、有田八幡神社を中心とした今日の有田神楽が演舞されたものと思われます。

さて、現在の有田神楽団は、有田八幡神社を中心に氏子の人々により編成され、秋の収穫を祝福し、氏神様に感謝する神事として今日に伝承してきた神楽団です。神楽団員は、15歳から76歳まで26名おり伝承・挑戦をモットーに日々精進しております。四季を通じて各地のイベントや招魂祭・氏神祭に招かれ神楽を上演・奉納しておりますが、まだまだ未熟でございます。本日は、団員一同今ある力を十分に発揮し、頑張りますので、御声援宜しくお願いします。

## 第一幕『紅葉狩』 もみじがり

平安時代の中頃、武勇の誉れ高い信濃の守・中納言平維茂(たいらのこれもち)は、「信州・戸隠山に棲み、世の中に災いを及ぼしている『鬼女』を退治せよ」との勅命を受けます。

維茂主従は、戸隠の険しい道を登りますが季節は秋、艶やかに色づいた紅葉は陽を受けて燃えさかる炎のように美しい景色の中で、姫に化身した鬼女が「紅葉狩の宴」を開いていました。主従は誘われるまま宴の客となり、酔い伏してしまいます。

麗しき姫は、正体を現し取り食らおうとしますが、その時維茂が日頃より信心する八幡大菩薩の使神竹内ノ神が現れ鬼女を追い払い『神剣』を授けます。正気を取り戻した主従は、鬼女との戦いに挑み、退治するという物語です。

大太鼓	— 鍵	祐太
小太鼓	— 森脇	直広
手打鉦	— 中村	弘樹
笛	— 隅井	哲雄
平維茂	— 小田	真矢
相良蔵人	— 中村	聡志
八幡大菩薩	— 大本	昌司
更科姫	— 立盛	翔太
(鬼人)		
松姫	— 中村	陽一
(鬼人)		

## 第二幕『八岐大蛇』 やまたのおろち

出雲の国に暮らす足名稚・手名稚老夫婦には八人の娘がいました。しかし年毎に一人またひとりと大蛇に飲み取られ、七人まで娘を失いました。そしていよいよ八人目の姫が飲み取られる季節となり、老夫婦と八人目の姫・奇稻田姫(くしいなだひめ)は嘆き悲しんでいました。そこへ高天原(たかまがはら)から舞い降りた須佐乃男命(すさのおのみこと)が通りかかり、その訳を聞きます。

尊は、大蛇退治を決め、老夫婦に八塩折の毒酒を造らせ酒を入れた樽の後に姫を立たせます。やがて、どこからともなく大蛇が現れ、毒酒に映った姫の影を飲み干していきます。酔いの回るほどに暴れ狂い、しだいに酔い伏してしまいます。これを待ち構えていた尊は、壮絶な戦いの末、大蛇を退治します。

大蛇の腹を切り裂くと、一本の刀が出てきます。これを天叢雲劍(あめのむらくものつるぎ)と名づけ、天照大神(あまてらすおおみかみ)に捧げます。そしてめでたく奇稻田姫を妻とし、平和で豊かな出雲の里で暮らしていくという物語です。

大太鼓	— 鍵	祐太
小太鼓	— 森脇	直広
手打鉦	— 中村	陽一
笛	— 隅井	哲雄
素戔鳴尊	— 小田	真矢
足名稚命	— 大本	頼雄
手名稚命	— 中村	弘樹
奇稻田姫	— 鍵	翔太
大蛇	— 立盛	翔太
大蛇	— 中村	聡志

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。  
※助成/一般社団法人地域創造